



平成19年度

東北テクノロジーセンター 研修のご案内

平成19年4月

東北テクノロジーセンター高度ICT研修について

平成19年度開催スケジュール（当初スケジュール）

講座の概要

受講のご案内

ITスキル標準に対応した研修コース体系図について

研修会場のご案内

研修申込書

<総務省「情報通信人材研修事業助成金」申請研修>

- ・本研修は総務省「情報通信人材研修事業助成金（07年4月現在申請準備中）」の適用研修として補助を受け、受講料を大幅に低く抑えて開催するものです。

<宮城県・仙台市の負担金適用研修>

- ・東北テクノロジーセンター・コンソーシアムを通じ、宮城県、仙台市も負担金を支出しております。

東北テクノロジーセンター高度ICT研修について

はじめに

東北テクノロジーセンターは、東北・宮城地域における高度IT技術者の育成を進め、東北地域のIT関連企業の振興と集積を目的として、平成13年度から、地域IT関連企業のスキルアップに役立つ研修を実施しております。プログラム言語(Java)、データベース、ネットワーク等の研修を開催してきたほか、近年はITスキル標準に対応した4分野(コンサルティング/営業、プロジェクトマネジメント、セキュリティ、ITスペシャリスト)に係る上級技術研修や資格取得講座等を開催し、多くの皆様に受講していただきました。

当センターでは、これまでの地域に果たした役割などを総括するとともに、平成18年度の活動の中で(社)宮城県情報サービス産業協会(MISA)などとの連携による地域IT戦略を反映した人材育成体系の企画を進めて参りました。平成19年度の研修は、こうした連携活動の成果を基に実施研修の絞りこみを行い、コンサルティング、マネジメントなど地域IT企業のニーズに近い内容を中心に付加価値の高い研修を実施します。

東北テクノロジーセンターの特徴

・ 運営主体 東北テクノロジーセンター・コンソーシアム

地元情報サービス産業団体、大手ITベンダー、行政機関等11団体で構成するコンソーシアムが運営しています。

((株)仙台ソフトウェアセンター、宮城県、仙台市、(社)宮城県情報サービス産業協会、日本オラクル(株)、サン・マイクロシステムズ(株)、(株)カサリアル、シスコシステムズ(株)、ネットワンシステムズ(株)、マイクロソフト(株)、(株)三井物産戦略研究所)

・ 研修内容

これまで東北地域で開催されることの少なかった高度技術研修や地域IT企業のニーズの高い分野を中心に実施しています。

平成14年度 プロジェクト言語(Java:ジャバ)、データベース、ネットワーク

平成15年度 上記に情報セキュリティ、プロジェクトマネジメント、マイクロソフトネット関連等の内容を加えて実施

平成16年度 情報セキュリティ分野、コンサルティング・マネジメント分野を重点的に実施

平成17年度 ITスキル標準に対応した4分野(コンサルティング/営業、プロジェクトマネジメント、セキュリティ、ITスペシャリスト)に係る上級技術や資格取得講座等を実施

平成18年度 地域業界団体等との連携による地域IT戦略を反映した人材育成講座の実施

・ これまでの研修実績

県内IT関連企業の皆様を中心に多数のご利用をいただいています。

平成13年度～平成18年度の受講者総数 約1,000人

・ 受講料のメリット

行政の支援(国、宮城県、仙台市)により、通常の受講料の半額程度です。

また、東京で受講する場合と比較して、交通費・宿泊費等がかかりませんので、

コスト面で大きなメリットがあります。

キャリア形成促進助成金について

独立行政法人雇用・能力開発機構が所管する「キャリア形成促進助成金」を活用することによって、さらに教育経費を削減することが可能です。支給要件などがありますので、詳しくは、雇用・能力開発機構みやぎセンターへお問い合わせください。 <http://www.ehdo.go.jp/miyagi/>

平成19年度 東北テクノロジーセンター高度ICT研修

(受講料の単位:円)

【1】ITスキル基盤養成(ITスキル標準対応・ヒューマンスキル研修)

講座名	日数	受講料*1 (税込)	開催予定日程*2 (上期)	開催予定日程*2 (下期)	会場*3
ITプロのためのコミュニケーション	2日	31,500	7/10(火)~11(水)		NAViS
ITプロのためのキャリアデザイン	2日	31,500	9/11(火)~12(水)		
ITプロのためのリーダーシップ	2日	31,500		1/22(火)~23(水)	
ITプロのためのネゴシエーション	2日	31,500		2/12(月)~13(火)	

【2】ITコンサルティング

講座名	日数	受講料*1 (税込)	開催予定日程*2 (上期)	開催予定日程*2 (下期)	会場*3
提案コンサル型SE養成講座	2日	31,500		10/11(木)~12(金)	NAViS

【3】プロジェクトマネジャー養成

講座名	日数	受講料*1 (税込)	開催予定日程*2 (上期)	開催予定日程*2 (下期)	会場*3
プロジェクトマネジメント基礎	1日	15,750	5/25(金)		NAViS
プロジェクトマネジメント手法の基礎	1日	15,750	5/26(土)		
プロジェクト計画	1日	15,750	6/8(金)		
プロジェクト実行管理	1日	15,750	6/9(土)		

【4】プロジェクトマネジメントスペシャリスト

講座名	日数	受講料*1 (税込)	開催予定日程*2 (上期)	開催予定日程*2 (下期)	会場*3
PM実践力強化ワークショップ	3日	47,250		11/5(月)、11/12(月)、 12/7(金)	NAViS
リスク・マネジメント実践	1日	21,000	7/21(土)		
PMBOK準拠 ITプロジェクトマネジメント	2日	42,000		2/22(金)~23(土)	

【5】ITアーキテクト基盤養成

講座名	日数	受講料*1 (税込)	開催予定日程*2 (上期)	開催予定日程*2 (下期)	会場*3
システム要件定義技法	2日	31,500	7/3(火)~4(水)		NAViS

注) *1:概算で算出しておりますので、変更の場合があることを御了承願います。

*2:講師等の都合により変更の場合があることを御了承願います。

*3:事情により変更の場合があることを御了承願います。

受講希望者数の状況、地域企業/業界団体の教育需要を勘案し、10月以降の後期において研修内容の変更・廃止あるいは追加を行うことがあります。

平成19年度 東北テクノロジーセンター高度ICT研修概要

ITスキル基盤養成 (ITスキル標準対応・ヒューマンスキル研修)

科目名	ITプロのためのコミュニケーション		
日数	2日	開催時期	2007年7月10日(火)～11日(水)
内容	<p>概要: IT人材に必要なプレゼンテーションスキル、ロジカルライティングスキル、コミュニケーションスキルを短期間で体得します。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITスキル標準におけるコミュニケーションの位置づけ ・コミュニケーションの技術(傾聴、質問、自己/他者理解、ロジカルコミュニケーション) ・ドキュメンテーション(表現のコツ、レポート作成など) ・プレゼンテーション(意味と必要性の理解、プレゼンテーションの3C) ・プレゼンテーション企画/実践演習 		
対象・前提	ITSSレベル2程度以上の業務経験のある技術者、SEなど		
講師	セイ・コンサルティング・グループ(株)(名古屋市) 代表取締役 山崎有生		
受講料	31,500円(内税1,500円)(テキスト代込み)		

科目名	ITプロのためのキャリアデザイン		
日数	2日	開催時期	2007年9月11日(火)～12日(水)
内容	<p>概要: ITスキル標準に基づいたスキルの棚卸し、目標の設定、そのアクションプランの策定を研修の中で行い、自主的・自立的なITキャリア形成につなげます。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITスキル標準におけるキャリアデザインの位置づけ ・ITSS11職種解説 ・雇用環境変化を知る ・自分史を語る(ライフチャートの作成、自分の光る経験)・・・発表 ・自己の現状分析(キャリアの棚卸し) ・ITスキル標準を用いた自己の位置づけ ・リッチピクチャーの作成 ・自分を中心とした人間関係分析 ・自己の強み、弱みの把握 ・5年後、10年後の業界予測(ブレインストーミング、デルファイ法)・・・発表 ・キャリアビジョン策定(キャリアビジョンシート、キャリア行動計画) ・実行宣言 ・総まとめ(自己成長のための指針) 		
対象・前提	ITSSレベル2程度以上の業務経験のある技術者、SEなど		
講師	セイ・コンサルティング・グループ(株)(名古屋市) 代表取締役 山崎 有生		
受講料	31,500円(内税1,500円)(テキスト代込み)		
備考	<p>本研修はITスキル標準に基づくキャリアビジョンを形成し、今後のITキャリア形成に活用してもらうものです。一般的なキャリア形成研修ではなく、IT業界の実情やITスキル標準など最新の流れを反映したキャリアデザイン研修といえます。</p> <p>特にITSS導入企業におけるITSSレベル2～3程度の中堅技術者には必携となる研修といえます。</p>		

科目名	IT プロのためのリーダシップ		
日数	2日	開催時期	2008年1月22日(火)~23日(水)
内容	<p>概要: リーダに必要なコンセプトスキルやヒューマンスキルに関して演習を通じて学習し、コンピテンシー(高業績者の行動特性)として体得。コーチング、ファシリテーション(支援・円滑化)、ビジョン策定等のヒューマンスキルを体得できます。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求められるリーダ像とリーダシップの必要性 ・ITスキル標準の動向と本講座の位置づけ ・コーチング能力、ファシリテーション能力 ・リーダシップゲーム(演習) ・リーダのためのコーチング、コーチングとティーチングの使い分け(講義) ・傾聴のスキル、質問のスキル、フィードバックのスキル(講義+演習) ・ファシリテーション能力(会議運営・リーダの役割)、メタ認知(演習) ・ビジョンの策定(演習) ・事例研究と発表、演習結果の議論 ・自己成長のための指針(総まとめ) 		
対象・前提	管理職候補者、プロジェクトリーダ候補者など (研修受講上の前提知識はありません)		
講師	セイ・コンサルティンググループ(名古屋市) 代表取締役 山崎有生		
受講料	31,500円(内税1,500円)(テキスト代込み)		

科目名	IT プロのためのネゴシエーション		
日数	2日	開催時期	2008年2月12日(月)~13日(火)
内容	<p>概要: クレーム対応、仕様変更、外注管理等、研修参加者の実事例を用い、交渉プロセス、交渉技法、信頼関係の確立、目標の設定、共通利益そしてそれらを支える基盤となる論理的思考や問題解決手法の活用・実践能力を養います。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITスキル標準の動向と本講座の位置づけ ・自己と他者の交渉スタイルを知る(個人ワーク・グループワーク) ・ネゴシエーションの基本(心構え、プロセス、スクリプト作成) ・事例研究(1対1の交渉)~仕様変更、クレーム対処 ・論理的思考法 ・事例研究(研修参加者の事例(1対1の交渉)) ・エモーショナルコミュニケーション ・事例研究(多対多の交渉)~グループ議論で自己企画・アイデアを主張 ・事例研究 個別ロールプレイングコンテスト ・自己成長のための指針(まとめ) 		
対象・前提	管理職候補者、プロジェクトリーダ候補者など (研修受講上の前提知識はありません)		
講師	セイ・コンサルティンググループ(名古屋市) 代表取締役 山崎有生		
受講料	31,500円(内税1,500円)(テキスト代込み)		

ITコンサルティング

科目名	提案コンサル型 SE 養成講座		
日数	2日	開催時期	2007年10月11日(木)~12日(金)
内容	<p>概要: コンサルタントとして活動する際に必要な一通りの基礎知識とその利用、コンサルティング活動への実践方法に関して、実務に即した形で習得します。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客企業の内外部分析(業界構造分析、財務諸表分析、組織分析) ・経営戦略の策定、戦略的情報化構想の立案(SWOT分析、投資対効果分析) ・企業価値の算出、バリュードライバの明確化とコンサルティング活動への反映 		
対象・前提	上級システムエンジニア・システムコンサルタント候補者		
講師	(未定)		
受講料	31,500円(内税1,500円)(テキスト代込み)		
備考	本研修は経営の話ができるSE、すなわちITコーディネータ的なコンサルティング型エンジニアを育成します。		

プロジェクトマネジャー養成

科目名	プロジェクトマネジメント基礎		
日数	1日	開催時期	2007年5月25日(金)
内容	<p>概要: システムの企画・開発・運用を担当するプロジェクトマネジャーに必要な、マネジメントの基本姿勢を学習。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト管理の概要 ・リーダーの役割と仕事 ・リーダーに要求される条件と特性 ・リーダーの心構え <p>本研修はマネジャーの考え方や姿勢が凝縮されており、実は最も重要な研修といえます。</p>		
対象・前提	情報システム開発管理者(プロジェクトマネジャー)及びその候補者		
講師	プロジェクトコンサルタント(横浜市)高根宏士		
受講料	15,750円(内税750円)(テキスト代込み)		

科目名	プロジェクトマネジメント手法の基礎		
日数	1日	開催時期	2007年5月26日(土)
内容	<p>概要: プロジェクトマネジャー必携の一般知識を網羅すると共に、実践的見地からその活用や考え方、手法などを学習します。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセスモデル ・WBS(スコープ明確化の基礎) ・工程の表現法(タイムマネジメント/工程管理の基礎) ・EVM(スコープ/タイム/コストマネジメントを繋ぐ表現) ・ファンクションポイント法 ・プロジェクトマネジメントの標準化動向 		
対象・前提	情報システム開発管理者(プロジェクトマネジャー)及びその候補者		
講師	プロジェクトコンサルタント(横浜市)高根宏士		
受講料	15,750円(内税750円)(テキスト代込み)		

科目名	プロジェクト計画		
日数	1日	開催時期	2007年6月8日(金)
内容	<p>概要: プロジェクト管理を行う最初のフェーズとなる計画と見積に関して、手順と見積・契約等の作業で考慮すべき事項について学習。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト計画における見積 ・見積とリスク ・体制構築 ・工程計画 ・計画における留意事項 		
対象・前提	情報システム開発管理者(プロジェクトマネジャー)及びその候補者		
講師	プロジェクトコンサルタント(横浜市)高根宏士		
受講料	15,750円(内税750円)(テキスト代込み)		

科目名	プロジェクト実行管理		
日数	1日	開催時期	2007年6月9日(土)
内容	<p>概要: プロジェクト管理における実行フェーズに関して、最も重要となる工程と品質管理を中心とした管理手法について学習。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト実行管理とは ・プロジェクト計画の徹底 ・工程の実行管理 ・工程フォローと遅れ対策 ・変更管理 ・障害管理 ・プロジェクト崩れ対策 		
対象・前提	情報システム開発管理者(プロジェクトマネジャー)及びその候補者		
講師	プロジェクトコンサルタント(横浜市)高根宏士		
受講料	15,750円(内税750円)(テキスト代込み)		

プロジェクトマネジメントスペシャリスト

(プロマネ課題解決ワークショップ)

科目名	PM 実践力強化ワークショップ (高根講師特別講座)		
日数	3日	開催時期	2007年11月5日(月) 11月12日(月) 12月7日(金)
内容	<p>概要: プロジェクトを総括し、よりよいマネジメント方策を探るワークショップ形式の実践講座です。完璧なプロジェクトマネジメントを目指すことによる利益向上を追求します。</p> <p>主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトマネジメントの課題の洗い出しと原因の検討(1日目) ・ プロジェクトマネジメント改善計画の立案と実行 ・ プロジェクトマネジメントの改善成果の報告と考察(2日目) ・ 改善計画の再実行 ・ プロジェクトマネジメントの改善成果の総括と今後の方策検討(3日目) 		
対象・前提	プロジェクトマネージャー(すでに何らかのプロジェクトマネジメントを経験し課題等を具体的に有していること)		
講師	プロジェクトコンサルタント(横浜市)高根宏士		
受講料	47,250円(内税2,250円)(テキスト代込み)		
備考	本訓練は受講者の持つ現実のプロジェクトを踏まえたプロジェクトコンサルティング的なオリジナル内容となります。最初にプロジェクト実務上の課題とその原因を探り、改善向上の方策を期間をかけて模索する内容となります。高根氏の持つ実務上のノウハウを皆様のプロジェクトの現実に役立てることを意図した内容となります。		

(高度PMプロフェッショナル)

科目名	リスク・マネジメント実践 (PMP 継続対応)		
日数	1日	開催時期	2007年7月21日(土) 開催時間: 9:30~17:00
内容	<p>概要: プロジェクトにおけるリスク要因を抽出・分析し、ケーススタディを通じてリスクマネジメントの重要性を理解する。</p> <p>主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PMBOK(R)準拠リスク・マネジメントのプロセス 2. PMBOK(R)準拠リスク・マネジメント解説 3. システム開発におけるリスク・マネジメント 4. ケーススタディ4 (リスク分析と対応策の策定) 		
対象・前提	プロジェクトマネージャー PMP 有資格者あるいは同程度の知識を有すること(資格なしでも受講は可能です)		
講師	佐藤 義男((株)ピーエム・アライメント(東京都))		
受講料	21,000円(内税1,000円)(テキスト代込み)		
備考	欠席等なしで講座を終了された方にはPMP資格維持に必要なPDU(PM教育受講証明書)を発行します(本講座終了で講師担当元より7PDUを発行)		

科目名	PMBOK 準拠 IT プロジェクトマネジメント (PMP 継続対応)		
日数	2日	開催時期	2008年2月22日(金)～23日(土) 開催時間：9：30～17：00
内容	<p>概要： PMBOK 準拠のプロジェクト管理技法を取得し、社外に通じるマネジメントスキルを養成。ケーススタディにて「プロジェクト実施計画書」と「失敗プロジェクト」を取り上げ、プロジェクトマネジャーが管理面で留意すべきポイントを学びます。</p> <p>主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネジメント最新動向 ・IT プロジェクトの特長と求められるスキル ・プロジェクト失敗の原因と分析例 ・見積の留意点、見積書作成/レビューのポイント ・契約形態、関連法規のポイント ・PMBOK 知識エリアの解説 (知識エリアとシステム開発における考慮点) ・開発フェーズにおける PMBOK 適用例 ・適正なプロジェクト計画策定 ・ケーススタディ 1 (プロジェクト実施計画書作成) <ul style="list-style-type: none"> - 首尾一貫したプロジェクト実施計画書を作成 ・ケーススタディ 2 (失敗事例) <ul style="list-style-type: none"> - 失敗プロジェクトを取り上げ、失敗の原因と再発防止のための対策を習得 ・実行管理のチェックポイント <ul style="list-style-type: none"> - 実績報告、問題管理、コミュニケーション管理、変更管理、品質管理 ・プロジェクトマネジメント成功の条件 <ul style="list-style-type: none"> - 体系的なプロジェクトマネジメントの取り組みと成功のフレームワーク 		
対象・前提	プロジェクトマネージャー PMP 有資格者あるいは同程度の知識を有すること (資格なしでも受講は可能です)		
講師	佐藤 義男 ((株)ピーエム・アライメント (東京都))		
受講料	42,000 円 (内税 2,000 円) (テキスト代込み)		
備考	欠席等なしで講座を終了された方には PMP 資格維持に必要な PDU (PM 教育受講証明書) を発行します (本講座終了で講師担当元より 14PDU を発行)。 テキストは講師著書であり定評ある『PMBOK による IT プロジェクトマネジメント実践法』 (SRC 刊) を使用する予定です。		

IT アーキテクト基盤養成

科目名	システム要件定義技法		
日数	2日	開催時期	2007年7月3日(火)～4日(水)
内容	<p>概要： 情報化戦略を受けた業務分析と業務目標の設定、それらに対するシステム化の要件定義技法を、ケース演習を交えて学習します。</p> <p>主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の戦略や方針を受けた業務要件の確認 ・システム要件定義のためのプロジェクト計画と管理 ・システム要件定義の手順と定義技法の適用 ・業務プロセスの分析と業務要件の定義 ・事例企業による販売業務担当者の立場に立った問題分析～要件定義演習 <p>研修形式： 講義 + 個人/グループ演習</p>		
対象・前提	上級 SE、上流工程技術者など (技術的な前提知識は特になし)		
講師	IT 研修講師 (東京都) 菊地 次夫 ((株)富士通ラーニングメディア)		
受講料	31,500 円 (内税 1,500 円) (テキスト代込み)		

受講のご案内

< 研修時間・開催教室 >

- ・研修時間の記載がない科目は全て 9:30～16:30 です（標準時間）。
- ・研修時間の記載がある一部科目のみ、記載時間での開催となります。
- ・開場は原則として開講 30 分前からとなりますので、予めご承知おき願います。
- ・研修運営や受講申込者数等の都合上、開催当日に予告なく同一建物内で開催教室を受講票記載教室より変更させていただく場合があります。悪しからずご了承ください。教室変更の場合は建物入り口に変更案内のお知らせを掲示いたします。

< 受講申込受付・受講料のお支払い >

- ・受講のお申込みは東北テクノロジーセンターWeb ページの申込フォームまたは e-mail、FAX で先着順に受付いたします。なるべくお申込科目開講の 1 ヶ月前、遅くとも 2 週間前までにお申込ください。申込受理の場合の受理連絡は特に致しませんが、受理連絡をご希望される場合はその旨併記の上申込ください。
- ・お申込受付後、原則として各科目開講の 2 週間前に受講票と請求書をお申込窓口担当者宛にお送りいたします。開講前日までに請求書記載内容に従ってお振込みください。
振込手数料はご負担願います。
領収書は銀行発行の振込金受領書をもって代えさせていただきます。
受講票・請求書が開講日の 1 週間前までに到着しないときは、事務局宛連絡願います。

< 受講料・テキスト >

- ・パンフレット記載受講料には消費税を含みます。
- ・受講料にはテキスト代を含みます。事前予習がカリキュラムに含まれる科目を除き、テキストは当日配布となります。事前配布はできませんので、予めご了承ください。

< 受講者の変更・キャンセル >

- ・受講者変更は可能ですが、原則として請求書や受講票の再発行は行いません。準備等の都合上、変更が発生した時点で事務局宛連絡いただきますようお願いいたします。
- ・キャンセルの場合は、受講料に対して以下のキャンセル料をご負担いただきます。

キャンセル料の規定（取消日：開講日から起算してさかのぼって（休日を含む））

取消日	14 日目以前	13 日～8 日前	7 日～2 日前	前日～当日・無連絡
取消料率	無料	30 %	50 %	100 %

（但し最低金額は 9,000 円（税別）とします）

電話・e-mail・FAX 等にてキャンセルの連絡を受けた時点でキャンセル成立とします。

キャンセル料を請求する場合は、対象研修の手配済みテキストを 1 部お送りいたします。

キャンセル料のお支払いは、以下の通りです。

- ・受講料未納の場合・・・キャンセル料に係る請求書をお送りいたします。
- ・受講料納入済みの場合・・・納入済受講料からキャンセル料相当額及び振込手数料を差し引いた金額をご指定の口座に振込いたします。

< 開催中止・変更等 >

- ・講師や受講希望者の状況等の理由により日程変更や開催中止とする場合もありますので、予めご了承ください。最低催行人員の取り決めはございません。個々の研修により都度判断いたします。
- ・開催の判断は原則として開講 2 週間前の状況により行いますが、開講 1 ヶ月前の時点で開講中止や日程変更等の可能性が強い場合には予め申込窓口担当者に連絡申し上げます。
- ・技術動向の変化等により予告なく研修内容を一部変更する場合があります。

IT スキル標準に対応した研修コース体系図について

各企業における人材育成計画の策定、その一環としての東北テクノロジーセンター研修活用の参考となるよう、新たに「研修コース体系図」を作成し、当センターWeb ページ上で公開しております。

本体系図は、平成 18 年度に当センターより（社）宮城県情報サービス産業協会に対して IT 人材育成動向調査を委託し、その中で同協会にて作成したものです。

体系図では、当センター研修だけでなく、一般的な情報サービス業における人材育成研修の主要テーマ全体を網羅しておりますので、基礎から高度な内容に至るまで、あるいは IT 系の様々な分野を網羅した統一感ある育成計画の策定ができます。是非有効に活用いただき、より効果の高い人材育成を推進していただければ幸いです。

研修コース体系図の構成

- | | | |
|---------------|-------------|------------------|
| ・基本図 | ・IT スペシャリスト | ・アプリケーションスペシャリスト |
| ・プロジェクトマネジメント | ・アーキテクト | ・コンサルタント |

東北テクノロジーセンターWeb ページ

<http://www.tohoku-techno.net>

上記 Web ページより PDF 形式でダウンロードできます。

研修会場のご案内

仙台ソフトウェアセンター (NAVIS)

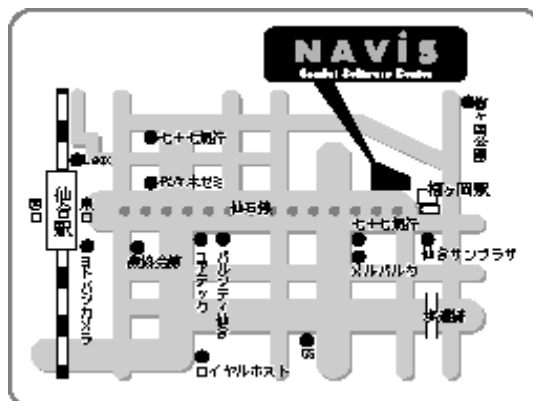
所 在 仙台市宮城野区榴岡5-12-55

U R L <http://www.navis.co.jp/>

【交通アクセス】

J R仙石線榴ヶ岡駅1番出口(北側出口)隣接

J R仙台駅東口徒歩13分



J C - 2 1 教育センター

所 在 仙台市青葉区花京院1丁目3番1号

(東北電子専門学校内)

U R L <http://www.jc-21.co.jp/>

【交通アクセス】

J R仙台駅西口より徒歩5分、

地下鉄仙台駅より徒歩6分



大塚商会 ラーニングセンター仙台

所 在 仙台市青葉区中央2丁目11番1号

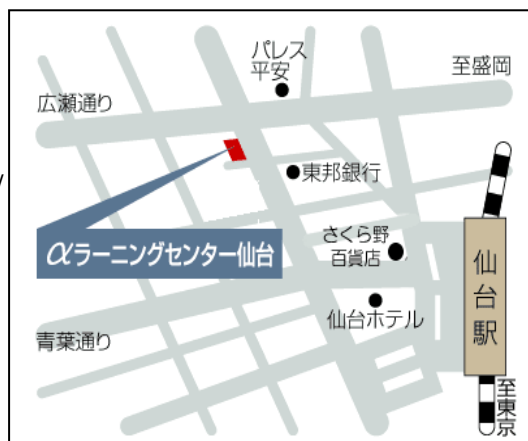
オルタス仙台ビル

U R L <http://it.e-otsuka.com/school/sendai/>

【交通アクセス】

J R仙台駅西口より徒歩5分

地下鉄広瀬通駅より徒歩3分



【お問い合わせ】

東北テクノロジーセンター・コンソーシアム事務局

仙台市宮城野区榴岡5-12-55((株)仙台ソフトウェアセンター内)

TEL 022-298-3700 FAX 022-298-3701

<http://www.tohoku-techno.net> t-tech@tohoku-techno.net

FAX送付先: 022 - 298 - 3701
 (e-mail:t-tech@tohoku-techno.net)
 東北テクノロジーセンター 行

【東北テクノロジーセンター研修申込書】

貴社名			
貴社住所	〒		
申込責任者名	(所属・役職)	(氏名)	
窓口担当者名	(所属・氏名)	TEL :	
		FAX :	
		E-mail :	
科目名		科目名	
開催日	/ ~ /	開催日	/ ~ /
受講者 1	フリガナ 氏名	受講者 1	フリガナ 氏名
	所属・役職		所属・役職
	年齢		年齢
受講者 2	フリガナ 氏名	受講者 2	フリガナ 氏名
	所属・役職		所属・役職
	年齢		年齢

<備考>

1. 研修運営の参考にいたしますので、所属・役職、年齢もご記入ください。
2. 受講に係る事務連絡は窓口担当者様宛にさせていただきます。
3. e-mail によるお申込の際は各項目をご記入の上送信ください(様式自由)。
4. なるべく各科目開講の2週間前までお申込いただくようご協力願います。対応可能な場合は直前申込も受け付けますが、その場合は必ず事前にお問い合わせいただくようお願いいたします。

直前申込の場合、特にテキスト手配や機器演習環境等の準備が間に合わない場合もあります。この場合はその旨ご了承いただき、受講いただくこととなります。

<個人情報の保護について>

- ・ 受講者の個人情報は申込研修実施の目的以外には一切使用しません。
- ・ 窓口担当者の個人情報は当センターからの研修案内送付等に使用させていただくことがございます。但しこの場合でも第3者に提供することはありません。